

Message from a Globalist 8

ジョージ プリュット 校長
George Pruitt
名古屋国際中学校・高等学校

今回のグローバリストは国際派アメリカ人のGeorge先生です。
卒業証書授与式(3月1日)での卒業生に向けての
式辞の一部をここで紹介します。

「国際人として活躍するために」

現在の国際情勢に眼を向けますと3つの大きな格差の広がりを感じます。それは「貧困の差」、「理想と現実の差」、「関心と無関心の差」の3つです。世界中の資源は豊かな者に支配され、貧しい者はより貧しくなり、打破しようとする意欲もなく、無関心に過ごしている若者が増えています。わたしは、次世代のリーダーであるみなさんには思いやりのある心を育て、無関心にならないでほしいのです。世界中すべての人々の利益のために、思いやりと固い決意で、みなさんが才能を発揮されることを期待したいのです。

小さなことですが本校生徒にも、海外語学研修やメディアを通して関心を示し、発展途上国への募金や、戦争で怪我をした子どもたちへの援助、ベトナム孤児院への文房具送付などのボランティア活動をされたと思います。これらは良いきっかけです。卒業しても世界の情勢に関心を持ち、積極的に行動してくれることを願っています。

次に、みなさんが「国際人」として活躍する方法をお話します。

1つ目は英語の学習を継続することです。英語は世界の共通言語になっているため、しっかりと学習し、身につけることが大切です。もし可能であれば第二外国語を学習してみてください。日本に住んでいる多くの若者は多文化交流をする機会が少ないので、できるだけ多くの言葉を駆使して活躍することが重要です。

2つ目は国際社会の平和を訴え対話を擁護する立場になるとうと努力することです。みなさんの寛容さと思いやりの心で、世界の人々と交流すれば、必ずや意義ある対話をすることができるはずです。

外国語をしっかりと習得することで、世界の人々と対等に意見交換ができ、素晴らしい人間性を備えたリーダーになってくれると確信します。

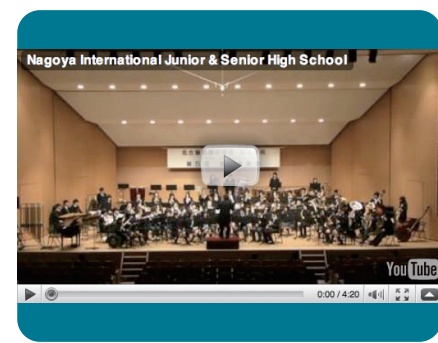
みなさんは本校に入学して以来、非常に多くのことを成し遂げてきました。みなさんの中には、自分たちがどれだけの成長を成し遂げたかに気づかない人もいます。しかし、みなさんは今までわたしが話してきた多数の能力や積極性を備えています。学習とは生涯続けていくものですから、自分の身につけた能力を洗練し続け、フロンティアスピリット溢れる未来の国際人になるよう努力してください。

最後になりましたが、みなさんにとって今日という日は新しい世界への始まりです。勇敢な心で前進して行ってください。全世界がみなさんの舞台です。■

THE FRONTIER TIMES

Report

Wind Orchestra 第5回定期演奏会をネット公開中!



年末に向けて猛練習を重ねた吹奏楽部にとって、定期演奏会は1年の締めくくりとなる大ステージ。今年はソリストにジャズユーホニウム奏者、照喜名俊典氏をお招きし、ウィルあいちでのコンサートを開催しました。部員一同熱のこもった練習成果の一部をご覧ください。ご来場の皆様ありがとうございました。■

www.nihs.ed.jp/frontiertimes/



Feature

中高一貫コースを
中心に

2010年から マネジメントサイクルが 始まります!

文部科学省によって「高等学校設置基準」等が改正され、
全国の学校は自己評価の実施に努めるように定められています。
名古屋国際は学校全体としての業務改善を持続的に実施し、
「目指す学校像 (School Vision)」に成長するためのマネジメントサイクルの導入を進めています。
今回はその概要についてのGeorge校長先生へのインタビュー(一部)を紹介します。

[Interview]

TIMES: マネジメントサイクルの導入はなぜ必要なのですか？

George校長: 昨今の教育現場で、校長のリーダーシップとその結果に対する責任が問われる中、校長の示す教育方針のもと教職員が1つの共同体となって自律的な改善に取り組む必要があると考えています。PDCA「計画(Plan)-実行(Do)-評価(Check)-改善(Act)」を通じてのサイクルが本校の組織的な改善活動につながると考えています。

TIMES: 例えばどのような分野が改善されるのですか？

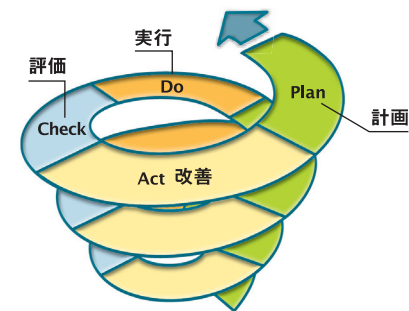
George校長: 基本的には学校での業務全般が対象となりますが、改善する分野は教育方針の作成によって方向付けします。具体的には、年間を通しての授業(カリキュラム等)や行事の内容が中心となりますが、国際生の学校生活を守るための安全管理も大事な改善点です。

TIMES: 国際生としてマネジメントサイクルに関わることはあるのですか？

George校長: もちろんあります。すでに中高一貫コースの国際生は年末に実施されたマネジメントサイクルに関する100項目ほどの学校評価アンケートに協力してくれています。この貴重なデータを元に自己点検を行い、改善に向けて2010年度の運営計画が作成されるのです。今後もアンケートへの率直な回答をお願いしたいと思います。

TIMES: 年々改善されていくことを期待しています。ありがとうございました。■

PDCAサイクルの
イメージ図



▲インタビューに答えるGeorge校長



©STUDIOS HNH



● Message to Students ●

自分に言い訳をすることなく、 高みを目指して頑張ってください

名古屋工業大学 工学部 1 年生 (2009 年卒業生)

松本 雅彦 君

名古屋国際の6年間で得たもの、それは何よりも“人とのつながり”です。この6年間で友達や先生、たくさんの人とのつながりをつくることができました。入学当初、担任の先生にテニス部を勧められなければ、今の僕の原動力になっているテニス部での経験もなかったことでしょう。高校2年の春、数学の素晴らしい先生が担当になっていなければ、名古屋工業大学に合格することはできなかったでしょう。目指すことさえできなかったかもしれません。

いろいろな人たちの支えや協力があったからこそ、今の自分がいるのだと感じています。一人でも欠けていたら、今の自分ではなく、全く違う人生になっていました。僕を支えてくれた人々へのせめてもの恩返しとして自分にできることといえば、今の大学で精一杯、必死に頑張っていくことだと考えています。

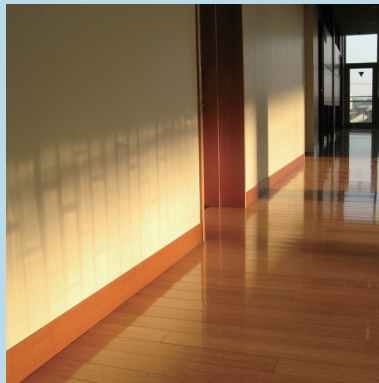
6年間で苦労したことと言えば、やはり受験でした。学習環境に戸惑ったり、何かと支障はあったりしましたが、最後は自分の気持ちの持ちようが一番大切なのだということを学びました。国際生のみなさんには、自分に言い訳をすることなく、高みを目指して頑張ってくださいと思います。

さて、大学での1年はまさに光陰矢のごとし、すぐに終わってしまいました。振り返ってみると、勉強面ではとても苦労したもの、友達の輪は大学や学科を越えて、ものすごく広がりました。今、大学進学について悩んでいる人、とりあえず大学に進学することです。そこに、新たな何かを見出せるはずです。

国際生のみなさん、今ある仲間を大切に、自分の夢を持ち、日々感謝の気持ちを忘れることなく、過ごしてください。何か一つでもいいので、“自分はこれをやり通した”と言えるものを見つけてください。そうすれば、今よりも、もっと充実した学校生活が送れるはずです。■



©Satomi SUZUKI



▲壁に浮き上がる竹材の影



“In Switzerland they had brotherly love, they had 500 years of democracy and peace —and what did that produce? The cuckoo clock.”

(スイスには愛国心があり、500年にわたる民主主義と平和があった。
それで一体何が生まれた?・・・せいぜい鳩時計さ。)

キャロル・リードのフィルム・ノワールの古典「第三の男」(1949)の中で、ホリー・マーティンス(ジョセフ・コットン)は、第二次世界大戦の開始以来会っていなかった古い友人、ハリー・ライム(オーソン・ウェールズ)に会うため、戦後のウィーンにやってきました。しかし着いてすぐに、ハリーは車にひかれて亡くなったと知ります。さらに英国警察の少佐から、ハリーは薄めたペニシリンの密売に関わっており、そのせいで多くの人が病み、亡くなったと聞かれます。いくつかの理由からホリーは、ハリーが車にひかれた後にその遺体を運んだという「三人目の男」の存在に疑問を持ち、ついにはハリーが生きて無事であると知ります。二人はさびれた遊園地で会って観覧車に乗り込み、その中でハリーは(イタリアでは悪政と流血の下で偉大な芸術が生まれたとの言葉に続けて)上の印象的なセリフを口にします。「第三の男」はアカデミー賞の撮影賞を受賞し、史上最高の映画の一つと考えられています。■

In Carol Reed's classic noir film The Third Man (1949), Holly Martins (Joseph Cotten) has come to post-World War II Vienna to find his old friend Harry Lime (Orson Welles), whom he has not seen since before the war started. When he arrives in Vienna, Holly learns that Harry has been struck by a car and killed. He learns from a British police captain that Harry was involved in the sale of penicillin on the black market, that he had diluted the product and that many people had suffered and died as a result. For various reasons, Holly becomes suspicious of the “third man” who helped carry away Harry's body after he was struck by the car. He eventually learns that Harry is alive and well. He and Harry meet in an abandoned amusement park and ride a Ferris wheel. As they come to the top, Harry utters this memorable line. The Third Man won an Academy Award for Cinematography and is considered one of the greatest films of all time. ■

2010年度 パイオニアキッズ・イングリッシュクラス

Hot! Information

募集受付開始!



▲担当するFern先生

パイオニアキッズは、楽しく和やかな環境の中で英語活動を体験する小学生対象イメージングプログラムです。土曜日を使って年間20回(1日2時間)の開催を予定しており、クラスではコンピュータ、料理、スポーツ、遠足、科学実験、工作、外国文化の探求などを、すべて英語を使って活動していきます。挑戦する意欲のあるみなさんのご応募をお待ちしています!■

募 集 要 項

定 員: 60名(男子・女子)
対 象: 愛知県内在住の小学生(4年生～6年生)
開 講 時 期: 5月中旬～12月中旬
受 付 期 間: 3月15日(月)～4月30日(金)
応 募 方 法: エントリーサイトで、必要事項を入力してください。

エントリーは
こちらから ▶▶

www.nihs.ed.jp/p-kids/

